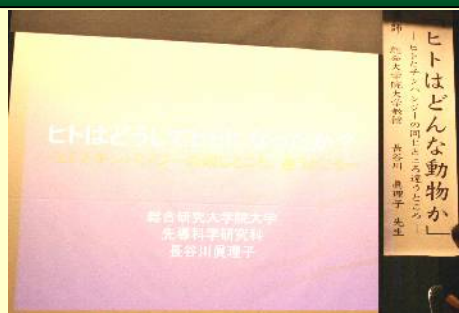


SS 科学基礎「先端科学講座」



10月14日(金)に「先端科学講座」として、自然人類学者で総合大学院大学教授の長谷川眞理子先生による出張講義が開催されました。

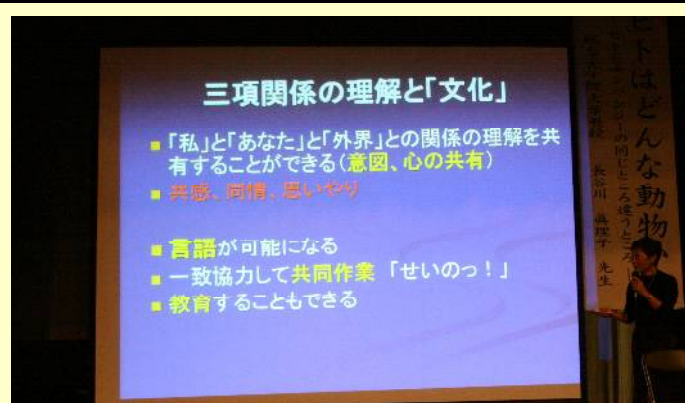
講義の演題は「ヒトはどんな動物か」～ヒトとチンパンジーの同じところ違うところ～ でした。

長谷川眞理子先生は「私は自然人類学者です」と明言されて講義を始められましたが、進化学の分野や動物行動学、そして科学とは何かを問う科学論の分野でもとても有名な方です。持続可能な人の社会を作るための自然人類学からのアプローチに関する今回の出張講義では、好奇心を呼び覚ます話題が随所に散りばめられ、とても興味深くお話を聞くことができました。

【対象】英進部 1学年(211名), 2・3学年(70名)



いつもは大学院生を教えちゃる長谷川先生。高校生の若さは久しぶりだそうです。科学は難しいのが当たり前。易しく単純にはできないというお考えに高校生もついて行きます。



「私が思っていることをあなたは知っているということを私は知っている」という三項関係。「私」と「あなた」と「外界」の関係を理解し共有できる関係は他の動物にはできないヒト固有の特徴です。



チンパンジーは二項関係を理解できるが、三項関係は浅いという実験や話に興味津々。ヒトは心と心をわかり合うことができ他を思いやることができます。



「地球で67億人も人間がなぜ繁栄することができたのか。人としての特徴を知ること、持続可能な社会を築いていかなければならない。」というお言葉に多くの生徒が感銘しました。



「サルの毛繕いやのみ取りなどの行為は三項関係とどう異なるのか」など、生徒からの多くの質問に、わかりやすく丁寧に答えてくださいました。